

## ソフトウェアの整合性がビジネスの成功につながります

ソフトウェアの品質がビジネスの成功を左右します。ソフトウェアの品質向上に投資し、整合性を高めることにより、開発コストと製品出荷の遅れやリコールにかかるコストを大幅に削減し、ビジネスアジリティを高めて、開発者が技術革新に打ち込む時間を増やすことができます。

## ソフトウェアの整合性の確保

Coverity Integrity Centerの採用により、ソフトウェア開発会社は、ソフトウェアの不具合による製品の不具合やリコールをなくし、ソフトウェアを迅速かつ低リスクで変更し、効率のよい開発を通じて、製品の技術革新における飛躍的な進歩を遂げることができます。



Coverity Integrity Centerでは、1つのソリューションでいくつかのソフトウェア解析機能を提供しています。このソリューションを採用することにより、顧客はソフトウェア開発の設計、コーディング、ビルド、およびテスト段階において、ソフトウェア問題の根本原因を特定し、問題を排除できます。組織がアジャイルとウォーターフォールのどちらの開発手法を採用していようと、集中型と高度分散型のどちらの開発環境で開発していようと、ソフトウェア開発会社は、Coverity Integrity Centerを採用することによって整合性の高いソフトウェア開発ができます。

Coverityはこれまでに、100万を超えるソフトウェア品質、セキュリティ、およびパフォーマンスの欠陥を製品のリリース前に発見することで、年間600を超える顧客の2億5000万ドルものコストの削減を実現してきました。世界の大手医療機器、ネットワーク、コンシューマエレクトロニクス、ロボット工学、輸送、軍装備品、ビジネスアプリケーション、半導体、ゲーム機器などの企業が、Coverity製品を採用し開発ソフトウェアの整合性をさらに向上させています。

Coverity Integrity Centerを採用して開発ソフトウェアのインテグリティを整合性の高いソフトウェアを提供する企業に仲間入りしませんか。

## ソフトウェアの不具合を排除することで防ぐことができる問題：

- 開発者の生産性の低下
- 製品出荷の遅れ
- 製品のリコール
- 市場におけるイメージ、評価のダウン

## ビジネスイニシアチブを実現する方法：

### 品質とパフォーマンス

- 開発工程の初期段階で欠陥を検知、修正し、開発およびメンテナンスのコストを32%削減する

### リスクと変化

- 出荷前に問題となりうるソフトウェア欠陥の30%を検出して、製品のリコールの防止と、セキュリティの脆弱性を取り除く

### 生産性とアジリティ

- 開発コストを削減して、リソースを機能や技術革新の提供に集中させる

### コンプライアンスと標準規格

- 厳しいベストプラクティス、業界、および政府の厳しい規格に対応

### 対象規格：

- IEC 62304
- ISO14971
- DO 178B
- FDA ガイドライン
- OWASP
- CWE/SANS
- PCI
- MISRA
- SOX法

Coverity Integrity Centerは、ソフトウェア開発の設計、開発、アセンブリ、およびテストといったすべての段階において下記の真価を発揮し、顧客は問題がビジネスに影響を及ぼす前に対処できます。

• **アーキテクチャ解析：**

ソフトウェアの変更を低リスクで行い、コンポーネントを簡単に再利用できるように、ソフトウェアの設計を解析します。アーキテクチャを視覚化し、コストのかかる違反やデータ消失の原因となるセキュリティの隠れたバックドアを特定します。

• **静的解析：**

ソースコードを解析し、製品出荷の遅れやリコールの原因となる欠陥を特定します。セキュリティ欠陥を開発工程の初期段階で検知するので、セキュリティ監査チームが、コストのかかる開発作業のやり直しに時間を取られたり、製品の技術革新作業に支障をきたすことがなくなります。

• **ビルド解析：**

ソフトウェア ビルドを解析し、コストのかかる製品出荷の遅れの原因となるソフトウェアのアセンブリにおける問題や非効率性を特定します。完成品のすべてのオープンソースコンポーネントが文書化されており、セキュアであることを保証します。

• **動的解析：**

テスト環境で実行して、複雑なマルチスレッドの並列処理の欠陥や、テストや出荷を大幅に遅らせるソフトウェアの問題を引き起こすクラッシュを特定するため、アプリケーションを解析します。

## Coverityの顧客

Coverityは、開発コストの削減や製品品質の向上を望んでいる企業の、開発サイクルの初期段階でバグやセキュリティの脆弱性を排除を可能にし、高い評価を得ています。600を超える世界の大手企業がCoverity製品を使用してビジネスパフォーマンスを高めており、これらの企業は、下記のようなソフトウェア製品および大手サービスプロバイダです。

- 通信とネットワーク—電気通信機器、無線インフラ、ネットワーク通信
- ファクトリオートメーション—計装と測定、ストレージ
- オフィスオートメーション
- ミッションクリティカルな装置—医療、軍事、航空宇宙
- コンシューマデバイス—モバイル通信、コンシューマエレクトロニクス
- エンジニアリングアプリケーション—CAD、CAM
- ビジネスアプリケーション—セキュリティソフトウェア、データ管理、ストレージ管理
- ゲーム—コンピュータゲーム、家庭用ゲーム、カジノ用ゲームおよびプラットフォーム
- オペレーティングプラットフォーム—リアルタイムオペレーティングシステム、サーバーオペレーティングシステム
- 半導体システム
- 自動車

## Coverity, Inc. (コベリティ インク) について

コベリティは、米国サンフランシスコに本社をおくソースコード解析ツール会社です。ソフトウェアの開発工程の初期段階で、重大なソフトウェア不具合およびセキュリティの脆弱性を自動的に解析、検出するコベリティの画期的な技術は、ますます複雑化するソフトウェア開発を効率的に行うサポートをしています。コベリティ社の製品は、何千万行ものコードに対応するだけでなく、フォールスポジティブ率（誤検知率）が非常に低く、100%のパスをカバーしており、すでに600社を超える有力企業が導入しています。おもな顧客には、サムスン、Symantec/VERITAS、NTT、日本電気、Synopsys、ACCESS、Wind Riverなどがあり、コベリティ製品を利用して、ミッションクリティカルなコードのセキュリティや品質における不具合を検出し、品質の向上、開発の効率化に役立っています。同社の詳細は、[http://www.coverity.com/index\\_jp.html](http://www.coverity.com/index_jp.html)をご覧ください。

### コベリティ 日本支社

〒163-0510 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル10階  
TEL: 03-5909-8838 E-mail: [japan\\_sales@coverity.com](mailto:japan_sales@coverity.com)  
Website: [http://www.coverity.com/index\\_jp.html](http://www.coverity.com/index_jp.html)

### Coverity, Inc. 米国本社

185 Berry Street, Suite 1600 San Francisco, CA 94107 USA  
E-mail: [sales@coverity.com](mailto:sales@coverity.com)  
Website: <http://www.coverity.com> <http://scan.coverity.com>

